

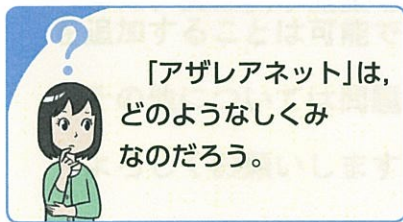


①しんさつのように



②かん者の医療情報を見る医師

せんとく 医療に生かされる情報ネットワーク



共有される医療情報 福岡県久留米市に転校した、あかりさんから、みおさんにメールがとどきました。



あかりさんからのメール

わたしのおばあさんは、心臓の調子が悪く、かかりつけの医師から手術が必要だと、しんだんされ、くわしい検査や手術、入院のできる病院をしょうかいしてもらいました。

そのときに、その医師から「くるめ診療情報ネットワーク(アザレアネット)」をしょうかいされました。「アザレアネット」は、かん者の医療情報を病院や診療所が共有する情報ネットワークのことです。

おばあさんは手術後、退院し、今はかかりつけの診療所へ通っていますが、かかりつけの診療所の医師が「アザレアネット」で手術や治療の内容や検査の結果を見ているので、安心して診察してもらえると喜んでいます。

みおさんは、あかりさんからのメールの話をクラスで話しました。みんなで話すうちに、「アザレアネット」について、ぎもんが出てきました。

「アザレアネット」の情報ネットワークで共有できるおもな医療情報

病歴などの情報	2017年	11/27(月)~12/3	12/4(月)~12/10	12/11(月)~12/17	12/18(月)~12/24	12/25(月)~12/31
レントゲンなどの画像						
血液などの検査結果						
注射の情報						
薬の情報						
共有情報						



③「アザレアネット」のしくみ 医療情報を提供する病院どうしも医療情報を見ることができます。

みおさんたちは、「アザレアネット」のしくみについて、インターネットを使って、くわしく調べることになりました。

現在、久留米市や周辺の市町にある、189の病院や診療所が「アザレアネット」に参加しており、かん者の医療情報を提供する病院が7、その医療情報を見ることができる病院や診療所が182あります。

「アザレアネット」では、かん者の同意のうえで提供された、電子カルテや検査結果、レントゲンなどの画像、薬の情報などの医療情報を見ることができます。

みんなで調べるうちに、「アザレアネット」ができたわけや、かん者さんにとって、こういったよさがあるのか、ぎもんが出てきました。

学習問題

「アザレアネット」は、かん者のために、どのように利用されているのだろう。

診療所

病院よりも規模が小さいものと。

学び方・調べ方コーナー

見る・調べる

インターネットでの調べ方

- ウェブページをけんさくできるページをよび出す。
- 自分たちが調べたいことに関する言葉を入力する。
- 画面に出てきたいろいろなウェブページのなかから、見たいものを選ぶ。
- 選んだページを見て、必要な部分を印刷したり、保存したりする。